

講演から受け止めたエッセンス

1 「近未来の日本農業と地域社会～政策を考える基本視点」

福島大学食農学類長・教授 生源寺眞一氏

専業の農業経営者と小規模農家や元農家という異質なイメージを前提として、共助・共存関係の形成が求められる時代に。機械や農業支援を与え用水路や農道の維持管理など共同体から受け取る協働が。古典的な決まり事を強制する仕組みから、互いに納得の上で参加する共同行動へ。必要に応じて新たに決まり事を作る気風が、内部からの革新的チャレンジや外部からの新機軸の導入に結びつく事になる。技術や環境の変化に応じて新たに決まり事を創出してきたのが農村コミュニティの歴史である。

2 「内発力は逆境を順境に変える」

川上村村長 藤原忠彦氏

産業が起きる 3つの要素は、「時流、資源、人」である。

3 「子育てで地域に人を呼び戻す～森のようちえんを起点とした取り組み」

智頭町 森のようちえんまるたんぼう 理事長 西村早栄子氏

森の幼稚園は多産である。お母さんが安心して子育てできる環境づくりが少子化対策である。

4 「企業活動から見える地域との関わり」

タビオ㈱会長 越智直正氏

自分に解決できない問題はおきない。記憶力は必要ない。真剣に考えて創造せよ。